



鈴木まもる県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

全国平均に及ばぬ私学助成 千葉実績

全国並みへ3億2000万円必要

「順境に酔わず、逆境にめげず」との釈迦の言葉を胸に、市川市選出の鈴木衛(すずき・まもる)県議は2期目は、だれもが住んで良かったと思えるふるさとづくりを注いでいます。2月県議会予算委員会では県の

市川市特集

施策を質すため登壇し、教育問題、災害対策などについて県の担当者に聞き、また、地元市川市で進められている三番瀬再生事業、外環道路建設事業について、数々の要望を行いました。質疑の模様を特集します。



質疑者

2月県議会予算委員会で私学助成施策などを質問する鈴木衛県議

2月県議会予算委員会

鈴木議員 千葉県では23年度、私立学校に通っている生徒が4万6077人に、市川市選出の鈴木衛(すずき・まもる)県議は2期目は、だれもが住んで良かったと思えるふるさとづくりを注いでいます。2月県議会予算委員会では県の

保護者負担軽減へ私学助成の充実を

鈴木議員 県の歳出予算総額に占める私学関係予算の割合と全国順位はどうか。学事課長 全国と比較できる23年度のデータで申し上げますと、当初予算1兆

教育の翼を担う私立学校では財政基盤が脆弱なところが多い。私立全日制高校の半数以上が定員割れになっており、経営が危ぶまれているところもある。教育の機会均等や学校選択の自由を保障するために、さらなる財政支援は必須である。

8805円で、全国平均との差額は約8700円です。また、幼稚園につきましては一人当たり17万2219円で、全国平均との差額は約1900円となっています。24年度の都道府県の補助単価、全国平均は今後明らかになつてまいりますが、この度の予算で本県が補助単価を上乗せした分、全国平均との差が縮まるとしたら、高校で約4700円の差、幼稚園で約1200円の差になると推計されます。

鈴木議員 経常費補助単価が全国平均を達成した後、県は、私学助成についてどのように取り組んでいく考えか。総務部長 経常費補助単価につきましては、全国平均に手が届くところまで来たという段階ですので、全国平均を達成した後の私学助成の取組みについては、明確なお答えはできませんが、いずれにいたしましても、私学教育の一層の発展と保護者負担の軽減を図るため、引き続き努力してまいります。

鈴木議員 県の歳出予算総額に占める私学関係予算の割合と全国順位はどうか。学事課長 全国と比較できる23年度のデータで申し上げますと、当初予算1兆5594億円のうち私学助成予算は約421億円で、全体の約2.7%を占めております。これは全国第5位の高さとなります。なお、24年度も厳しい財政状況の中、443億円の予算を確保したところであり、予算全体に占め

鈴木まもる県議プロフィール

- 略歴■
 - 昭和26年 市川市若宮生まれ
 - 私立市川高校卒業
 - 専修大学文学部中退
 - 市川市議会議員当選(4期)
 - 市川市議会議長
 - 千葉県議会議員当選(2期)
- 現職■
 - 県議会 総務防災常任委員会副委員長
 - 千葉県 水道事業運営審議会委員
 - 競馬組合議会議員

要望 鈴木議員 私学助成は、学校の経営安定化だけでなく、保護者の負担軽減にもつながることから、学校経営者だけでなく、生徒の保護者も大いに期待しているところである。県財政も大変厳しい状況ではあるが、今後とも、私学教育の発展のため、私学助成の充実を要望する。

都市づくり、地域づくりのご意見、ご提言をお寄せください。

鈴木まもる県議事務所 〒272-0021 市川市八幡3-29-20 秋葉ビル3F TEL047-333-6000 FAX047-322-3232

鈴木まもるホームページ = <http://www.suzukimamoru.com>

三番瀬再生事業

護岸の安全確保 漁場改善に力点

24年度

鈴木議員 三番瀬再生に係わる予算編成についてうかがう。

東京湾に残された貴重な干潟、浅海域である三番瀬が豊かな海域となるよう地元を初め、関係者と連携しながら自然環境の再生保全と地域住民が親しめる海の

再生の施策を進めるとした目標を掲げている。

23年から25年での取り組みとして、三番瀬再生事業計画を作成して、これに基づいて事業を進めていくところだが、なにに力点を置いた予算編成なのかをうかがう。



県担当者の答弁を聞く鈴木衛県議

次に市川塩浜護岸前面の干潟再生についてうかがう。平成24年度では干潟化実現

環境政策課長 三番瀬再生のための平成24年度当初予算案は、新事業計画に基づき、護岸の安全確保や漁場改善などに力点をおいており、総額で10億7418万9千円となっています。

これは、平成23年度の当初予算と比較しても、全体で3億9213万円の増額となっているところです。

鈴木議員 市川塩浜1丁目海岸再生事業では危険な直立護岸の早期改修が進められているが、平成23年度と比べて約4億円の大幅な増額であり、事業がスピーディーに進むものと評価できる。地元市とよく調整しながら事業を進めていただき、塩浜護岸を早く安全安心なものへと改善してほしい。

「隙が予算措置すべき」

鈴木議員

三番瀬再生新事業計画に示された事業は千葉県が事業主体になって進める事業である。私は認識している。

干潟再生事業

鈴木議員

環境政策課長 市川市から要望がある塩浜2丁目護岸前面の干潟の再生については、受益者が主として市川市となること、公園整備など市のまじわりと密接

外環道路供用まであと3年

鈴木議員

市川市と松戸市内において、道路や下水道などの整備に取り組んでもらっているところだが、平成27年度の外環道路の全線供用まで3年となったことを踏まえると、外環道路の整備とともに都市基盤の充実を確保なものにするため、

地元の関連事業、着実に

鈴木議員

市川市と松戸市内において、道路や下水道などの整備に取り組んでもらっているところだが、平成27年度の外環道路の全線供用まで3年となったことを踏まえると、外環道路の整備とともに都市基盤の充実を確保なものにするため、

報によると、地形変化の点では、砂を盛った試験区は形が緩やかに変化し、潮が引いても露出しない状態と

に設置する事業が考えられているがどうか。

副防犯危機管理監 県では、災害時に、市町村社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターにおいて、ボランティア等の団体と行政機関との連絡調整役などを担う「災害対策コ

今後、干潟の再生に向けた試験結果や護岸改修工事の進捗状況を見ながら、干潟再生の進め方について引き続き市川市と協議してまいります。

鈴木議員 護岸前面、特に階段状護岸前面の干潟の再生を進める必要があると考えている。

市川二期埋立て計画中止や三番瀬再生計画の策定過程を考えると、三番瀬再生計画の主体である千葉県が、干潟再生のための適正な予算措置をするべきだ。

また、計画中の国分下貝塚線についても、早期事業着手に向け、都市計画変更などの必要な準備を行っているところだ。

県としては、今後とも整備に必要な予算を確保し、これら外環関連事業の推進に努めてまいります。

健康福祉指導課長 県では、各市町村が、住民組織や地区社会福祉協議会、NPO等と連携して行う、地域の空き店舗等を利用して高齢者・障害者等が集える「ふれあいサロン」等の地域の拠点づくりや、高齢者等要援護者に対する見守りネットワークづくりなどを支援してきたところです。

これらの地域活動の拠点や住民のネットワークは、災害時においても有効に機能するものと考えられることから、今後とも、市町村と連携を図りながら、地域の体制づくりを支援し、地域福祉を推進してまいります。

鈴木議員 「ミニ災害ボランティアセンター」、「災害弱者の見守りセンター」を県として整備を行うことについてどのように考えるか。

健康福祉指導課長 県では、各市町村が、住民組織や地区社会福祉協議会、NPO等と連携して行う、地域の空き店舗等を利用して高齢者・障害者等が集える「ふれあいサロン」等の地域の拠点づくりや、高齢者等要援護者に対する見守りネットワークづくりなどを支援してきたところです。

また、計画中の国分下貝塚線についても、早期事業着手に向け、都市計画変更などの必要な準備を行っているところだ。

県としては、今後とも整備に必要な予算を確保し、これら外環関連事業の推進に努めてまいります。

鈴木議員 外環関連道路予算については、十分な予算措置をお願いしたい。

鈴木議員 「ミニ災害ボランティアセンター」、「災害弱者の見守りセンター」を県として整備を行うことについてどのように考えるか。

健康福祉指導課長 県では、各市町村が、住民組織や地区社会福祉協議会、NPO等と連携して行う、地域の空き店舗等を利用して高齢者・障害者等が集える「ふれあいサロン」等の地域の拠点づくりや、高齢者等要援護者に対する見守りネットワークづくりなどを支援してきたところです。

鈴木議員 「ミニ災害ボランティアセンター」、「災害弱者の見守りセンター」を県として整備を行うことについてどのように考えるか。